



【取材のご案内】

～平和への願いを未来へ～

被爆樹木二世の植樹式を開催します

◆杉並区は、平和意識の醸成や原子爆弾の被害の記憶を継承することなどを目的として、原子爆弾の被害に耐え抜き、力強く生き続けた「平和の象徴」である被爆樹木の二世を、杉並区立中瀬中学校に植樹します。

◆植樹する苗木は、広島市で被爆したアオギリ（爆心地から1,300メートル地点で被爆）と長崎市で被爆したクスノキ（爆心地から800メートル地点で被爆）、それぞれの種から育った「被爆樹木二世」の苗木です。区が加盟する「平和首長会議」を通じて、広島、長崎両市から寄贈されます。

◆被爆樹木を育てることを通じて、生徒や地域住民が平和や命の尊さについて学び、被爆の記憶を未来へつなぐ機会とします。

◆現在の中瀬中学校が所在する敷地には、戦時中、軍需工場を防衛するための高射砲陣地が整備されていました。戦争の歴史と関わりのあるこの地から、平和への願いを発信し、戦争の記憶を継承する取り組みを進めてまいります。

◆中瀬中学校は昭和23年（1948年）4月に開校し、ことしで創立78周年の伝統ある学校です。本年1月には新たな校舎が竣工し、この度の植樹式は新校舎完成の記念行事の一つとして開催します。植樹式では、生徒代表による苗木の植樹や記念プレートの設置などを行います。ぜひご取材いただきますようお願いいたします。（取材希望の場合は申し込みをお願いいたします。）

開催概要

【日時】7月15日（水）14時45分～15時15分（報道機関受付開始14時15分）

【会場】杉並区立中瀬中学校 校舎南側広場（杉並区下井草4-3-29）

※受付は、中瀬中学校南側の早稲田通りに面した南門にお越しください。

※雨天時は、7月16日（木）15時45分～16時15分の日程で開催します。

【実施内容】

- ① 初めの言葉（生徒会役員）
- ② 植樹式実施の経緯説明、被爆樹木の紹介（校長）
- ③ 生徒会長あいさつ
- ④ 植樹（苗の植樹、記念プレートの設置、水やりなど）
- ⑤ 成長への願いを込めたメッセージ（中瀬中学校ビオトープ委員長）
- ⑥ 終わりの言葉（生徒会役員）
- ⑦ 記念撮影



令和8(2026)年7月8日
杉並区総務部広報課

◆「被爆樹木二世」について

昭和20年(1945年)の原子爆弾投下により、多くの樹木が焼き尽くされた中、再び芽吹いた樹木を「被爆樹木」と呼んでいます。その生命力から平和や希望の象徴とされ、被爆樹木の種から育った樹木を「被爆樹木二世」と呼びます。平和の象徴として全国の自治体や学校などで植樹が進められ、平和意識の醸成や核兵器廃絶を願う被爆者の思いを共有するために活用されています。

取材をご希望の場合は、**7月13日(月)午後5時までに広報課報道係にご連絡ください。**

【報道機関 問い合わせ先】

広報課報道係 : 03-3312-2111 (内線1574)